

とよた市議会だより



防災指導車「防サイ君」

目次

■ トップインフォメーション	市議会議員の仕事について	2
■ 議案説明・討論	条例の一部改正など	4
■ 議案審議結果		5
■ 常任委員会	付託案件を審査	6
■ 一般質問	市政を問う! 20人の議員が質問	8
■ トピックス	市議会議員がラグビーワールドカップ2019™をPR 全国市議会議長会表彰	12

表紙の写真 (議案第89号関係)

防災指導車「防サイ君」の写真です。学校や事業所、自主防災会などの各種団体で行われる防災訓練などで地震体験による防災指導を行うための車両です。市民の安全安心の確保及び福祉の増進を図るため、今年度更新します。

定例会号

6月市議会

令和元年8月1日

市議会議員の仕事について

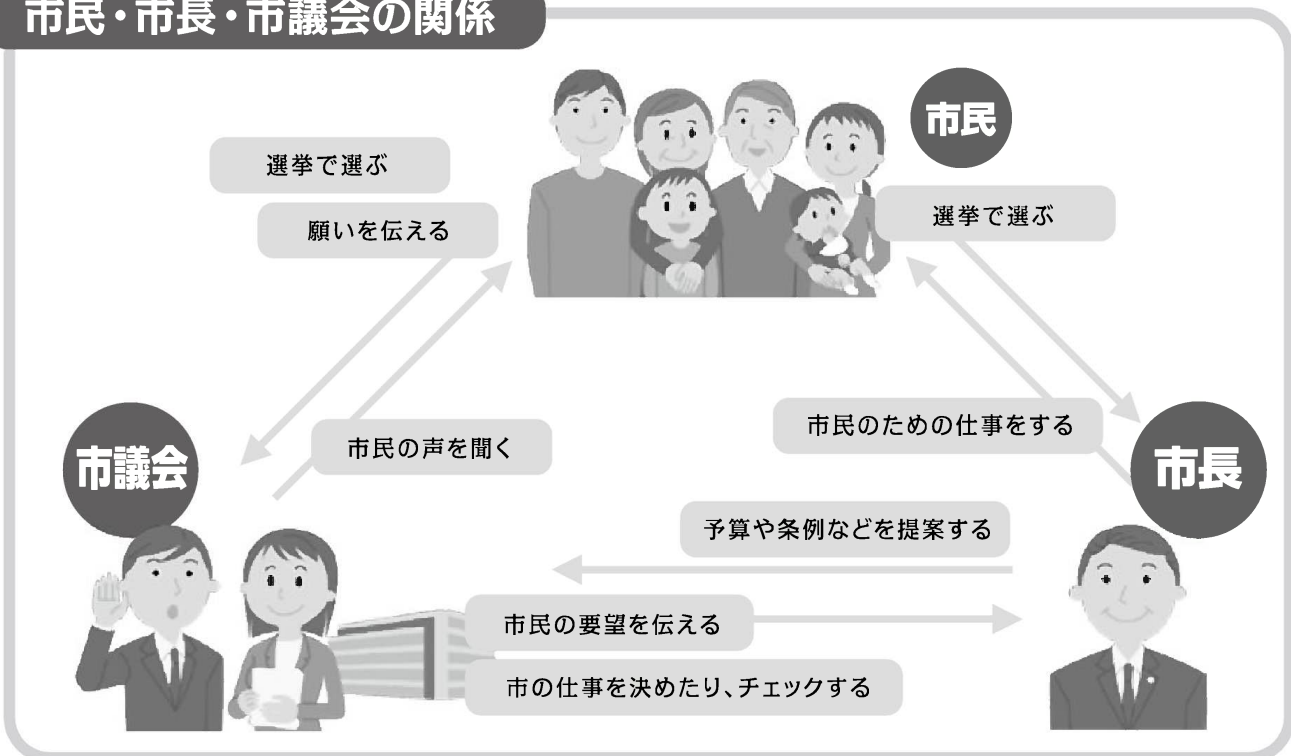
去る4月21日(日)に豊田市議会議員一般選挙が行われ、45名の議員が市民のみなさんから選ばれました。今回は、市議会議員がどのような活動を行っているのか、わかりやすく紹介します。

市民のみなさんの代表として

誰もが住み続けたいと思うような、住みやすいまちにしていくためには市民全員が集まって話し合うことが最も理想的です。しかし、実際に市民全員が集まって話し合うことは現実的ではありません。そこで、市民のみなさんが選挙によって自分たちの代表となる人を選び、その代表者が今後のまちづくりや社会福祉などについて話し合いを行います。この選挙によって選ばれた代表者を市議会議員、話し合いの場を市議会といいます。

市議会議員は、市の取組をチェックしたり、市民のみなさんの声を市に伝えたりすることで、住みよいまちになるよう活動しています。

市民・市長・市議会の関係





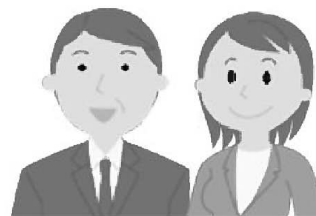
住みやすいまちにするために

市議会議員は、年4回開かれる市議会定例会(3月・6月・9月・12月 各25日間程度)の中で、市政に対する質問を行ったり、住みよいまちをつくるために必要なきまり(条例)や市のお金をどのように使うか(予算)を決めたり、そのお金が正しく使われたかどうか(決算)などを確認したりしています。

その他にも、地域・職域・各種団体の会合や行事に参加するなど、市民のみなさんとの交流を通して、地域や市政に関する課題を見つけ、その解決に向けて、積極的に取り組んでいます。また、全国の先進的な事業に取り組んでいる自治体へ勉強(視察)に行き、広い視野に立って市の取組に活かせるよう市への提言も行っています。



▲市議会定例会本会議の様子



◀他自治体への視察の様子

議員の仕事を見てみませんか？

～インターネットによる録画映像放映～

市議会では、市役所の行っているさまざまな仕事や活動について、議員が市長や担当者に質問を行うことができます。これは、市役所が市民のみなさんのためにきちんと仕事をしているかどうかをチェックする意味があり、「代表質問・一般質問」と呼ばれています。

これらは議場に直接お越しただいて傍聴することもできますが、インターネットでいつでも気軽に見ることができます。ぜひ一度、ご覧ください。

各検索サイトから「豊田市議会」検索で、豊田市議会ホームページへアクセス。ページ下部の「動画で見る!代表・一般質問」から各定例会ごとのボタンよりご覧いただけます。

▼豊田市議会ホームページ





条例の一部改正、工事請負契約の締結など30議案を議決

生徒数の増加に対応するため、校舎を増築します

【議案第72号】工事請負契約の締結

(市立朝日丘中学校校舎増築工事)

生徒数の増加に対応した教育環境を整備するため、豊田市立朝日丘中学校の校舎を増築します。契約金額は18億1千500万円で、完成予定は令和3年3月19日です。



▲市立朝日丘中学校校舎増築後のイメージ図

竜宮橋の橋りょうを整備します

【議案第76号】工事請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線竜宮橋橋りょう整備工事(その3))

都市機能を高める道路ネットワークを形成する都市計画道路高橋細谷線の道路改良事業の推進を図るため、竜宮橋橋りょうを整備します。契約金額は7億5千570万円で、完成予定は令和2年7月31日です。

討 論

6月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

根本美春
諸 派

大企業に超過課税を行うべきであり、市税条例の一部を改正する条例には、反対

議案62号：反対。消費税の引き上げに伴う、法人市民税の一部国税化は、市の歳入へ多大な影響がある。多くの中核市が行うよう、不均一課税で大企業に対して上限までの課税で79億円の税収が見込める超過課税を行うべきであり、反対。

議案64号：賛成。興行場等への一時的な用途変更に係わる建築物の使用許可申請において、安全上、防火上、衛生上支障がない場合の確認は、建築基準法に基づき、市が行うこととなった。適正な認定を期待して手数料条例の一部改正に、賛成。

木本文也
自民クラブ

産業用地整備は企業の投資の受け皿として必要であり、賛成

議案62号：賛成。消費税増税に伴う地域間の財源の偏在性を是正し、財政格差の縮小を図ることを目的にしている。市の歳入構造が転換期を迎えるが、基金・市債を有効活用し、事業の積極的な推進に期待して、賛成。

議案71号：賛成。市が所有する産業用地は無く、企業の投資の受け皿となる産業用地の整備は急務である。公共事業は地権者の皆さんの協力無くしては進められない。今後、南部地区をはじめとする産業用地整備でも、今回の事案を貴重な経験としていくため、賛成。

塩谷雅樹
市民フォーラム

先進的取組は、全ての外国人への対応につながることを期待し、賛成

議案68号：賛成。都市公園法の改正により、民間活力導入による公園施設設置が進めやすくなった。市民ニーズに基づいた公募提案により、公園施設の魅力向上や管理費の縮減につなげたい。本議案は他の公園施設への拡大を期待して、賛成。

議案70号：賛成。東南アジアを中心とした、多様な国籍の住民が増加していて、多言語通訳への限界があり、三者通訳用タブレット端末や多言語音声翻訳機の導入を確認した。多文化集住都市として先進的に取り組み、全ての外国人に対しての適切な対応につながることを期待して、賛成。

榎屋小百合
公明党

ナースコールの機能整備が市民生活の安心につながることを期待し、賛成

議案70号：賛成。本市は外国人が1万8千人余在住し、多様な国籍の住民が増加している。また、今後予定されている大規模な国際イベントや商用目的で外国人の増加が予想される。外国人生活者などの一元的な相談窓口、多言語対応機器を導入しサービスの向上を図る補正予算であり、賛成。

議案82号：賛成。豊田地域医療センターのナースコールシステムにおける、新たな機能の整備で、より安全な看護が可能となった。医療環境の充実は重要な課題であり、機能の整備は市民生活の安心につながるから、賛成。

岡田耕一
諸 派

朝日丘中学校の校舎増築計画は学校運営に影響が少ないことから、賛成

議案72号：賛成。校舎配置は、仮設校舎を必要としない計画により、引っ越しなどの負担が少ない。解体する校舎棟の跡地には、将来の建替えや増築に対応するスペースを確保。授業、部活動等にも配慮した計画。これらを評価し、賛成。

議案81号：賛成。本件用地の所有履歴や、前地権者の利用状況等も含め、総合的に判断したことは、最善とは言えないが、違法性はなく、不適切とまでは言えないため、今後の事業遂行を考えれば、致し方ないと判断し、賛成。



※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件

採決結果	議案	会派別賛否																	
		自民クラブ 26名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 4名											
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対										
◆議案																			
第61号	指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	原案可決	26	0	10	0	4	0	4	0									
62	市税条例等の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	1									
63	都市計画税条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	1									
64	手数料条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
65	体育施設条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
66	温浴施設条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
67	産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
68	都市公園使用料及び利用料金条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	3	1									
69	火災予防条例の一部改正条例	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
70	令和元年度一般会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
71	令和元年度産業用地造成事業特別会計補正予算	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
72	工事請負契約の締結(市立朝日丘中学校校舎増築工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
73	// (市立朝日丘中学校電気設備工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
74	// (市立朝日丘中学校給排水衛生空調設備工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
75	// (新生三校立体交差Cランプ高架橋ほか3橋橋りょう補修等工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
76	// (都市計画道路高橋細谷線竜宮橋橋りょう整備工事(その3))	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
77	製造請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線竜宮橋上部工製造)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
78	工事請負契約の変更(都市計画道路高橋細谷線竜宮橋橋りょう整備工事(その1))	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
79	// (平成記念橋橋りょう耐震補強・補修工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
80	// (豊田スタジアムメインマスト及びサブトラス修繕工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
81	// (花本産業団地拡張事業造成工事)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
82	財産の取得(豊田地域医療センターナースコールシステム)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
83	// (小型動力ポンプ付き積載車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
84	// (高規格救急自動車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
85	// (小型動力ポンプ付き水槽車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
86	// (水槽付き消防ポンプ自動車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
87	// (多目的資機材搬送車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
88	// (はしご付き消防自動車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
89	// (防災指導車)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
90	指定管理者の指定(梅坪浄水運動広場)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
◆同意																			
第3号	監査委員の選任(再任:金子芳樹氏)	同意	26	0	10	0	4	0	4	0									
4	人権擁護委員の推薦(再任:深津孝子氏はじめ3名。新任:倉地雅博氏はじめ3名)	//	26	0	10	0	4	0	4	0									
◆報告																			
第5号	専決処分の報告(損害賠償額の決定3件、工事請負契約の変更1件)																		
6	継続費等の報告(継続費、繰越明許費)																		
7	専決処分の報告(損害賠償額の決定1件)																		
◆陳情																			
第1号	最低賃金の引上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情書																		
2	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情書																		
3	すべての労働者に、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる人間らしい働き方を求める意見書の提出を求める陳情書																		
4	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情書																		
5	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情書																		
6	沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情書																		
7	保育士の人材定着・確保のため、職員配置比率と定価格を抜本的に改善し、大幅増員と賃金の引き上げを求める意見書の提出を求める陳情書																		
8	消費税率10%への引き上げの中止を求める意見書の提出を求める陳情書																		
9	すべての子どもたちによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書の提出を求める陳情書																		
◆議員提出議案																			
第2号	市議会政務活動費条例の一部改正	原案可決	26	0	10	0	4	0	3	1									
3	市長において専決処分することを得る事項の一部改正	//	26	0	10	0	4	0	4	0									



常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

6月13日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第79号】工事請負契約の変更(平成記念橋橋りょう耐震補強・補修工事)

質問 本工事は、平成30年度から3か年の継続事業として実施されているが、進捗状況と今後の予定はどのようなか。

答弁 本工事は平成30年9月26日に着手し、令和元年5月末時点での進捗率は約27パーセントである。

ラグビーワールドカップ2019™開催までには、橋梁アーチ上部の補強と塗り替え塗装を完了し、その後、橋梁アーチ下部での耐震工事を行い、令和2年9月30日に完成する予定である。

【第81号】工事請負契約の変更(花本産業団地拡張事業造成工事)

質問 埋設物調査は十分であったか。

答弁 今回採用した調査方法は、広範囲を調査する一般的な手法であるという認識であり、ほかの調査方法として、ポーリング調査や試掘調査等もあるが、当該事業のように用地取得前の耕作地を埋設廃棄物の具体的な情報がない中で、何箇所もポーリングをしたり、掘って調査をすることは現実的な選択ではなかったと考えている。したがって、当該調査は、当時の選択としては適切であったと考える。

環境福祉 委員会

6月14日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第66号】温浴施設条例の一部改正条例

質問 利用料金制の導入について、現在の指定管理者とはどのような協議を行っていたか。

答弁 現在の指定管理者である株式会社豊田ほっとかんとの間では、日ごろから経営改善について意見交換を行っている。

平成26年度の包括外部監査において利用料金制導入に関する意見が出されて以降、この点についても、協議を重ねてきた。

利用料金制の導入が、施設経営に対する意識をさらに向上させる契機になるとの点で、意見が一致し、前向きに取り組むことを確認している。



▲豊田ほっとかん

【第82号】財産の取得(豊田地域医療センター ナースコールシステム)

質問 見守りカメラの機能として特徴的なものはあるか。

答弁 単に動画を録画するだけでなく、患者の動きを検知するセンサーが付いており、センサーが反応する範囲を自由に設定することができる。

これにより、患者がセンサーの範囲外に移動した場合に自動で呼び出すようになっている。

教育社会 委員会

6月17日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第65号】体育施設条例の一部改正条例

質問 梅坪浄水運動広場の供用開始にあたり、アクセスのしやすさ、住民に対する安全対策、駐車場確保などについてどのように考えているか。

答弁 現在の周辺の道路状況を支え、安全でアクセスしやすいルートについて、市ホームページや指定管理者などを通じて、広く周知することで、利用者と周辺住民の安全確保に努めていく。

また、当広場には、103台分の駐車場を整備しており、類似の運動広場の利用状況からみても、適正な駐車台数は確保できていると考えている。

なお、当広場の供用後に新たな安全対策等の必要性が生じた場合は、適宜、関係部局などとも相談しながら対応していく。

【第72号】～【第74号】工事請負契約の締結

質問 朝日丘中学校増築校舎の整備において、生徒の学校生活を良くするための設計の特徴などはあるか。

答弁 設計の特徴については、増築校舎棟を4階建てにすることにより、職員室、校長室、保健室などの管理諸室と、普通教室を同じ建物に配置したことや普通教室を各学年同じ階に配置したことで、指導面や緊急時への対応など、学校運営のしやすさに配慮した。

そのほか、図書室とコンピュータ室は、2階と3階の上下の階で分かれているが、内部階段でつなげることにより、生徒の調べる学習などで、一体的な利用が可能な設計になっている。



委員会

地域生活

委員会

6月18日、付託された8議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第84号】～【第89号】財産の取得

質問

更新車両9台中4台が緊急消防援助隊に登録し、国の補助金を活用することのだが、車両更新に際して、緊急消防援助隊に登録する車両の根拠と国からの補助額はどのようか。

答弁

緊急消防援助隊の登録は、愛知県からの依頼により、全国で発生した地震や風水害等の災害活動を支援するため、国が示す緊急消防援助隊の登録隊数の方針に基づいて、市内災害の対応に支障のない範囲内において決定している。

国からの補助額は、4台の合計で9千107万7千円である。

【第88号】財産の取得(はしご付き消防自動車)

質問

はしご付き消防自動車は30メートル級はしご車ということのだが、その特徴と日本で製造するはしご車の規格はどのようか。

答弁

今回導入するはしご車の特徴は、建物の高層階に対応する以外に、はしごをマイナス17度まで倒し、河川や崖下など車両より低い場所での救助が行えること。

また、はしごの先端に取り付けたバスケットの積載荷重を270キログラムから450キログラムとし、より多くの人を乗せることが可能となる。さらにはしごの先端部分を直進式から屈折式にすることで、ビルの屋上の障害物などを避けて建物の上からスムーズに接近することが可能となる。現在国内で製造されているはしご車には、54メートル級、40メートル級、35メートル級、30メートル級、25メートル級、15メートル級がある。

企画総務

委員会

6月19日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情5件を報告しました。

【第64号】手数料条例の一部改正条例

質問

条例の改正に至った経緯と改正することによる効果はどのようか。

答弁

改正に至った経緯としては、平成30年6月に建築基準法の一部が改正され、その改正により、適用除外を認める規定が定められ、当該許可申請の手続が創設されたためである。

また、条例改正による効果としては、申請期間の短縮、手数料の軽減及び改修工事費用の軽減等が考えられる。

予算決算

委員会

6月12日から21日に付託された補正予算2件を審査し、すべての案件を全会一致で承認しました。

【第71号】令和元年度産業用地造成事業特別会計補正予算

質問

4億円の増額となったが、当事業に対する評価はどのようか。

答弁

当事業は、企業投資、雇用、税収等の事業効果が大きく見込まれ、豊田北バイパスに隣接する好立地であるため、企業の注目度が高いと考えられる。結果として当初の想定とは異なる状況となったが、事業スケジュール等に影響を及ぼすことなく、令和2年度の分譲開始に向けて取り組んでいく。

議員提出議案第2号

豊田市議会政務活動費条例の一部改正条例

・主な改正点

議員の政策形成能力の向上及び議会の審議機能の強化を図り、住民自治の確立と地方分権時代に即した市政を実現するため、政務活動費の上限額を53万円から60万円へと改正しました。

(政務活動費の額)

第6条 政務活動費の額は、会派にあつては当該会派に属する議員の数(以下「所属議員数」という。)に年額60万円を乗じて得た額以内とし、議員にあつては年額60万円以内とする。

(会派の所属議員数の異動等に伴う政務活動費の額の調整等)

第7条 (第1項は省略)

2 前項の規定にかかわらず、会派等は、1人当たり換算し、年間60万円を超えて政務活動費の交付を受けることができない。

また、政務活動費の用途基準に意思疎通支援者謝礼とガソリン代を追加しました。

議員提出議案第3号

市長において専決処分することを得る事項の一部改正について

・主な改正点

市営住宅等の駐車場の適正管理を行うための訴えの提起等に関する事項を、地方自治法第180条の規定に基づく市長の専決処分事項へ追加しました。内容は下線のとおりです。

(5) 市営住宅、新婚者住宅、特定公共賃貸住宅、地域定住化促進住宅及び小原活性化促進住宅の家賃、共益費若しくは駐車場使用料の支払又はこれらの住宅(駐車場を含む。)の明渡しに係る訴えの提起、和解及び調停に関すること。



市政を問う!

6月10日から12日にかけて、20人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

板垣清志

自民クラブ



- スーパーシティ構想の推進
- 第3次豊田市子ども総合計画
- 多様なコミュニケーション手段の利用促進

質問 地域共生社会の実現に向けて

本市も、コミュニケーション手段の利用促進に関する条例を制定すべきと提言するが、市長の考えを問う。

答弁 市長

自民クラブ議員団からの要望書にある、コミュニケーションの課題に関しては、障がいの特性に応じた様々なコミュニケーション手法を尊重し、その利用を促進する環境を充実することが必要。提言の条例制定に関しては、実現に向けて調査・研究をしていきたい。SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」という視点からも、考えを整理していきたい。障がい者のコミュニケーションはもちろん、外国人のコミュニケーションの課題もある。一度は幅広い議論も必要かと思っている。

日當浩介

市民フォーラム



- 持続可能なまちづくりに向けた取組

質問 スーパーシティ構想

国主導でインフラ整備が行われ、新たな産業クラスターの構築が期待できるスーパーシティ構想。エントリーについて見解を問う。

答弁 企画政策部

「つながる社会実証推進協議会」において、産学官連携で先進技術の実証を行ってきた。昨年度に策定した「未来都市とよたビジョン」の実現に向

け、さらに実証・実装の取組を加速化していく中で、スーパーシティ構想は、複数の先端的サービスの実現に必要な規制改革を同時・一括・迅速に進める仕組みを整備するとされており、取組を深める観点からも、今後の制度設計の動向について、強く関心を持って注視していきたい。

塩谷雅樹

市民フォーラム



- 安全・安心な交通社会への取組

質問 歩行者保護活動の取組

信号機に代わる「押しボタン式横断者明示標識」の導入が計画されている。市民への周知をどう行うかを問う。

答弁 地域振興部

押しボタン式横断者明示標識の効果は、既に設置している横浜市において、設置前後でストップ率が34.4%から78.0%に上昇した結果が得られたとのこと。本市の設置個所は、信号の無い横断歩道で、駅周辺の終日の横断者が多い箇所や、多くの児童生徒が横断する小中学校周辺の幹線道路を予定。愛知県内ではまだ設置例が無く、自治体回覧、各種広報に加え、警察と連携したキャンペーンの実施、新聞等マスメディアを通じて情報発信していく。



押しボタン式横断者明示標識

水野博史

自民クラブ



- スポーツ基盤を活かした都市戦略

質問 RWCのレガシーを活かした都市戦略

スポーツの場が産業の価値高度化やスポーツ市場を拡大。スポーツの可能性と基盤を活かした都市戦略を問う。

答弁 経営戦略部

豊田スタジアムやスカイホール豊田は、有効活用を図っていく。石野地区では日本女子プロゴルフ協会の大会で約2万人を集客し、6月に益富中学校でドローンレースを開催。11月には世界ラリー選手権のテストイベントを予定。豊かな自然を活かしたマウンテンバイクやカヌー競技の開催も期待できる。スポーツイベントに人が集まり交流することで、経済効果だけではなく健康増進にもなる。まちづくりや地域活性化に活かし、MICE推進の可能性や手法を調査していく。

宮本剛志

自民クラブ



- 免許証返納とその課題
- 上下水道事業における災害時の対応

質問 移動環境整備と生活の質の向上

超高齢社会を見据えクルマ以外の生活移動手段を確保する必要がある。平日昼間のバスやタクシー等の公共交通利用促進を問う。

答弁 都市整備部

平日の9時から16時までの昼間時間帯のバスの利用者は、朝夕の時間帯に比べ利用が少ない。昼間時間帯の利用促進は、高齢者等の外出支援



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

のほか本市のバス事業運営上の課題でもある。今後、平日の利用実態や高齢者等の需要を把握し、利用促進策を考えていく。

福岡 靖純

自民クラブ



- 交通まちづくり
- 豊田市のSDGs未来都市計画

質問 八草地区まちづくり事業を支援する道路整備

道路事情により、交通渋滞が恒常的に発生している国道155号の整備促進・機能強化に向けた考えを問う。

答 弁 企画政策部

国道155号は広域交流、都市間交流の活性化を図る放射道路として、都市の骨格となる重要な路線である。道路交通ネットワークの確立に向け、円滑な道路交通、災害時における緊急輸送道路としての機能確保が重要と考えている。国道155号の機能強化に向け、交通状況の実態把握を行うとともに、道路沿線及び周辺地域での土地利用の変化を考慮しつつ、道路管理者である国土交通省と連携を図りながら、必要に応じて対応策を講じていく。

近藤 厚司

自民クラブ



- 安心して医療を受けられる超高齢社会の構築
- 災害時に命を守ることが出来る超高齢社会の構築

質問 災害時の避難所設置と高齢者の避難支援の仕組み

移動困難な方をいかに守るかは課題。大規模災害時における高齢者の避難支援体制として本制度の進捗と運用を問う。

答 弁 福祉部

避難行動要支援者名簿には、本年5月末現在で7,829人が登録されている。このうち、自治区・民生委員・自主防災会等の地域の関係者へ名簿を提供することへの同意者は約80%。同意者名簿の提供先である自治区等に対しては、誰が誰を支援するかなど自治区を中心に要支援者の個別支援台帳を作成するようお願いしている。今後は、高齢者等の避難行動を支援する体制構築の推進が必要。モデル自治区を選定し、モデル事例を他へ展開を図っていく。

神谷 丈一

自民クラブ



- 高齢者が活躍する地域社会を目指して
- 市街化区域内農地の展望

質問 高齢者クラブの活性化に向けて

高齢者憩の家の設置は自治区内1か所だが、設置要件を緩和したい。空き家等の利用・活用も含め見解を問う。

答 弁 生涯活躍部

高齢者が地域で活動する事業は、高齢者憩の家の他にも、社会福祉協議会による「ふれあいサロン」、地域保健課による「元気アップ教室」、地域包括支援センターや地域スポーツクラブ等の講座など、様々な分野で展開。高齢者憩の家の増設に向けた設置要件の緩和は、今後の高齢化の進展を踏まえ、各事業の利用状況や高齢者のニーズも勘案して、全体の施策の中で必要に応じて対応していきたい。空き家等の活用については、有効な活用策の一つとして今後の参考にする。



元気アップ教室の様子

杉浦 健史

自民クラブ



- 救命体制の強化
- 小規模事業等支援施策の充実

質問 医療機関との連携強化

ラピッドカー方式によるドクターカーとは何か。医療機関が導入する本事業について消防の研修の関わりを問う。

答 弁 消防本部

ラピッドカーとは、救急隊などからの要請により心肺停止や心筋梗塞などの重症な傷病者の治療を早期に開始することを目的として、医師を現場に搬送する乗用車タイプの緊急車両である。これまでの医療機関に配置するドクターカー研修から、医療機関のラピッドカーを使用する方式が変わるが、研修内容に大きな変化はない。従来どおり救急救命士等が病院で実習をしながら、医師を乗せたラピッドカーを運転し、医学的な知識と技術の向上を図っていく。



ドクターカー



市政を問う!

議員氏名

会派名



三江弘海

自民クラブ



●地方創生の推進と定住促進

質問 今後の戦略と定住促進

山村地域は人口減少により、がけっ
ぶちの状況。過疎対策として定住促進
に関する今後の取組について問う。

答弁 企画政策部

今後の総合戦略における山村地域の
定住促進としては、いなか暮らし総合窓
口の運営や、空き家情報バンク、山村地
域等定住応援補助金などを引き続き展
開していく。特に移住希望者には空き家
ニーズが高く、地域と連携して紹介でき
る空き家物件数を増やしていけるかが
重要。おいでん・さんそんビジョンの中間
評価の結果を踏まえて、山村地域の市
営住宅の入居条件の見直し、関係人口
の創出・拡大など新しい視点を持って、
更なる定住促進を図っていく。

根本美春

諸派



●医療・交通対策で住みつけられるまちに
○保育無償化と子どもの安全・保育の質の確保

質問 交通空白地域への対策

交通の空白地域から交通の不便さ
を聞く。生活交通の空白をどう認識し、
「自主運行バス」による対策を問う。

答弁 都市整備部

公共交通基本計画では、鉄道駅から
半径1キロメートルの鉄道駅勢圏とバス
停から半径500メートルのバス停勢圏を
外れる地域で、一定の人口が存在する
地区を公共交通空白地区としている。対
策としては、地区の人口規模や移動需要、
まちづくりの方向性などを総合的に勘案
し、バス路線などの必要性を判断。バス

事業は路線新設が難しい状況にあるこ
とから、バス以外にもタクシーや住民共
助による自家用運送の活用などの可能
性も探っていく。

岡田耕一

諸派



●本市における交通安全対策

質問 運転ミス防止対策

トヨタ、ダイハツは、アクセルとブレ
ーキの踏み間違い事故を防ぐ安全装
置を販売。オートバックスは、後付け可
能な急発進防止装置を販売。本市でも
後付けの安全装置設置に対して補助制
度を設けるべき。他の自治体でもそう
した動きがある。見解を問う。

答弁 地域振興部

後付け踏み間違い防止装置等の安
全装置については、他の自治体の補助
制度導入の状況もみながら、その性能
や効果について検証する。現時点では、
補助制度を設ける予定はない。

田代研

公明党



●妥当性のある選挙制度
○成年後見制度

質問 ポスター掲示場設置の
均等性

ポスター掲示場にポスターを貼るが、
脚立では届かず、はしごでしか届かな
いなど不具合がある掲示場の改善を
いつまでにするかを問う。

答弁 選挙管理委員会事務局

足場がなく脚立を利用できないと連絡
をいただいた箇所や危険な箇所につい
ては、足場を確保するために掲示板を後
ろに下げたり、高さを低くしたりして、告示日
前日まで対応を図った。しかしながら、一

部、対応ができずにご迷惑をかけた。今
後は、事前確認を徹底し、不具合があれ
ば、直ちに対応していく。

鈴木孝英

市民フォーラム



●地震につよい豊田市をめざして

質問 女性や要配慮者への対応

避難所運営における、女性、要配慮
者への体制整備が必要である。本市の
避難所における整備状況を問う。

答弁 地域振興部

避難所における要配慮者対応は、関
係部署により取組が進められている。バ
リアフリー・ユニバーサル対応は、学校
施設のバリアフリー化を進め、意思疎通
の支援ツールを整備。福祉避難所では、
マニュアルを策定。避難者の健康管理
は、体調のチェック、食事や口腔ケアの
指導、こころのケアに加え、衛生対策、保
健師や薬剤師等が巡回する体制を整え
る。女性への暴力等の防止や安全対策
は、女性専用スペースの設置、夜間の見
回りなどの配慮をしている。

山本義勝

市民フォーラム



●公共バス利用促進への取組

質問 地域バス利用促進の取組

オンデマンドバスが地域バスとして、
どう効果と呼ぶか、利用促進につなご
るか、具体的な内容について問う。

答弁 都市整備部

モネテクノロジーズ開発のシステムを
利用したオンデマンドバスは、小原地区
の地域バスで、平成31年2月より実証実
験を行っている。オンデマンドバスシス
テムで、効率的なバス運行や、スマートフォ



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

ンなどから予約できることで利便性向上が図れる。スマートフォン予約で、学生など若年層の新たな利用者の取り込み、運行事業者にとっても運行経費の負担軽減が期待できる。小原地区では、6月から実運用に切り替えており、市内の他のデマンドバスへの導入を進めていきたい。



おばら桜バス

倉山 和之

市民フォーラム



●保育環境の整備と子育て支援の充実

質問 こども園・幼稚園の屋外活動での安全確保

滋賀県大津市の事故を受けて、安全確保の取組が急務である。屋外活動における危険個所の把握について問う。

答弁 子ども部

こども園では、園外保育安全マニュアルを作成し、散歩などにおける安全確保に努めている。今回の事故を受けて、各園において、園外保育の必要性、マニュアルの徹底、事件・事故発生時の対応について確認するとともに、散歩コースの危険個所について再度確認した。なお、各園で散歩コースの再点検を行った結果、公立こども園64園中9園が、交通量や歩道の状況などを考慮し、散歩コースを変更するなどの対応をとっている。

中村 孝浩

市民フォーラム



●本市の将来を担う子ども達の育成

質問 子ども達の見守りの取組

子どもの権利相談室の取組状況や、今後の子どもの権利擁護の取組をどのように進めていくのかを問う。

答弁 子ども部

平成19年10月に子ども条例を策定し、平成20年に子どもの権利相談室を設置。子どもの権利擁護委員は、平成30年度は新規120件の相談に対応。子ども条例の普及や子どもの権利の啓発にも取り組み、平成30年度は小中学校18校で権利学習の実施、研修会・講演会に13回参加。今後は、新たに中学校で子どもの権利啓発事業を実施する予定であり、令和元年度から3年間かけて28の中学校で、権利学習の授業などを実施できるよう現在準備を進めている。

奥村 峰生

自民クラブ



○防犯カメラによる安全安心なまちづくり
●中心市街地の賑わいづくり

質問 空き店舗対策

豊田市の玄関口と自負できる、個性豊かな店舗が中心市街地に増えれば、にぎわい創出になるが、見解を問う。

答弁 産業部

第3期中心市街地活性化基本計画では、多様な担い手による、まちのにぎわいの創出を目指している。桜城址公園で開かれる「ストリート&パークマーケット」の出店者を対象にしたアンケート調査から、23人が中心市街地での出店を検討しているなど意向があった。出店意欲のある方と空き店舗の所有者を結びつける取組も重要。空き店舗の活用策に取り組むことにより、個性的で魅力ある店舗が生まれることや、まちの魅力や回遊性向上を進めていく。

大石 智里

公明党



●消費を呼び起こす事業の推進
○農業用ため池の防災・減災対策

質問 キャッシュレス・消費者還元事業

本市も手数料や使用料、納税においてもキャッシュレス決済の早期導入が必要。市の考えを問う。

答弁 総務部

市役所のキャッシュレス決済導入は、市民課や支所等の窓口での各種手数料や公の施設の使用料など、現金で支払っているものについて、クレジットカードや電子マネー、QRコード決済などのキャッシュレス決済を加えていく方向で検討をしている。

税の収納は、口座振替などを進めてきたが、スマートフォンを利用したキャッシュレス決済についても収納システムとの連携が可能かどうかを含めて検討していく。

岩田 淳

自民クラブ



●水道事業の健全経営の確立と財政経営戦略

質問 健全経営に向けた財源確保と財政経営戦略

目的に応じた基金を創設すべきである。老朽化・耐震化対策の実施に向けた基金創設への考え方を問う。

答弁 上下水道局

事業目的を絞った基金を設置することは、財源とあわせて、事業の規模や進捗状況等が見える化できると理解。基金の原資には、特定目的積立との役割分担や留保資金運用に向けた検討・調整が必要となってくる。基金のほか、利益剰余金に「建設改良積立金」があり、大規模施設の改築時などに活用できる。豊田市にとって最適な更新財源の確保ができるよう、建設改良積立金や基金等について検討し、今後の財源のあり方を整理していく。



市議会議員がラグビーワールドカップ2019™をPR

豊田市議会では、9月に開幕するラグビーワールドカップ2019™の成功に向けたPRのため、6月定例会開会日の6月7日にラグビーポロシャツを着用し、翌8日には豊田スタジアムで開催された「愛知・豊田ラグビーフェスタ2019」においてPRチラシの配布を行いました。

豊田スタジアムは、ラグビーワールドカップ2019™大会の会場の一つであり、試合が実施される9月から10月にかけては、多くの国と地域からの観戦者が本市を訪れることが予想されます。議会としても大会が本市を世界にPRする絶好の機会となると捉え、大会成功に向けて積極的なPR活動を大会終了まで、引き続き実施していきます。



▲ラグビーポロシャツ



▲開会日にラグビーポロシャツを着用



▲愛知・豊田ラグビーフェスタ2019におけるPRの様子

全国市議会議長会表彰



令和元年6月11日に東京で開催された全国市議会議長会定期総会において、松井正衛前議員、大村義則前議員が20年勤続表彰、作元志津夫議員、鈴木章議員が15年勤続表彰を受けました。

6月定例会の閉会日に、杉浦弘高議長から表彰状が手渡されました。

◀写真左から鈴木章議員、作元志津夫議員

市議会の予定

9月市議会定例会は8月30日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

豊田市議会 検索

「動画で見る代表・一般質問」をクリック!



録画放送は、質問者ごと、大項目ごとで閲覧可能です。
「市議会だより」のバックナンバーや会議録も
ご覧いただけます。



豊田市議会ホームページ

<http://toyota-shigikai.jp> (動画で見る「代表・一般質問」)



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。